

樹木観察のポイント・樹木の姿

4 樹木全体（模型）の観察

Point

- ・樹木全体の姿をみる
- ・枝のひろがりも
- ・根のひろがりも



稚樹を使えば樹木全体を観察できますが、成長した立木に比べ小さく形も整っていません。空に向けてひろがる枝と地下に向けてひろがる根が一体となった樹木全体の理解には不十分です。そこで、樹木全体を縮小した樹木模型を補助教材とすることが考えられます。樹木模型は学習者の両手に収まる大きさが望ましく、1/100縮小が適当です。樹木模型は、専門業者（植栽模型工房樹海・奈良市）に製作依頼できます。入手が容易な景観模型（ジオラマ）用の樹木模型は、地下部を欠きますが地上部の理解には有効です。樹木の縦断図、横断図を描いた蝕図でもある程度の理解は可能ですが、樹木の立体像の理解に困難さが伴います。

参考：大石康彦（2013）樹木の全体像にせまるための教材開発、日本視覚障害理科教育研究会会報 32：12-16.